

1980年代のあの狂熱の“ベジャール・フィーバー”が追体験出来る。  
「ボレロ」「ディオニソス」そして「ライト」、あの青春の輝きふたたび!

# モーリス・ベジャール・バレエ団

BEJART  
BALLET  
LAUSANNE

2013年日本公演

**20**世紀後半のバレエに革命的変革をもたらした巨匠、モーリス・ベジャールの没後5年を記念するシリーズ第3弾は、本家、モーリス・ベジャール・バレエ団(BBL)公演です。

本公演の見どころは、ベジャール作品の不滅の金字塔である「ボレロ」が5年ぶりに本家バレエ団によって

日本で上演されるほか、ベジャールのめくるめく魅力がセンセーションを巻き起こした1980年代の2作が復活上演されることです。

まずAプロでは、ベジャールの勇名を世界に馳せてきた「ボレロ」。巨大な円舞台上に君臨し、本作をリードする「メロディ」役を、BBLのトップ・ダンサー男女2人が日替わりで競演しま

す。そして、鮮烈な横尾忠則の美術、眩惑的なギリシャの音楽を用い、85年の日本公演で熱狂を巻き起こした「ディオニソス」が組曲となって蘇ります。また現芸術監督ジル・ロマンの最新作「シンコペ」では、現在進行形のBBLの意欲的な姿勢を披露します。

Bプロでは、81年に伝説のスター、ジョルジュ・ドンを中心に振付け

られた大作「ライト」が、振付はそのままにジル・ロマンによって再編され、32年の時を経て復活します。

人間の生と死を見つめ、ダンスをもって探求したベジャール。その遺産を守りながら、BBLの未来を見据えて力強くカンパニーを統率する芸術監督ジル・ロマンと、自慢の精鋭ダンサーたちが繰り広げる魅力的な舞台にどうぞご期待ください!

## A Program 「ボレロ」

モーリス・ベジャール振付

## 「ディオニソス組曲」

モーリス・ベジャール振付

## 「シンコペ」

ジル・ロマン振付

「ボレロ」主演予定

エリザベット・ロス  
(3/1、3/3、3/5)

ジュリアン・ファヴロー  
(3/2、3/4)

3月1日(金) 7:00 p.m.  
3月2日(土) 3:00 p.m.  
3月3日(日) 3:00 p.m.  
3月4日(月) 7:00 p.m.  
3月5日(火) 7:00 p.m.

## B Program 「ライト」

モーリス・ベジャール振付 全幕

■休憩なし

■上演時間: 約1時間30分

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

※開演時間に遅れると、ご自分の席に着けなくなります。余裕をもってお越しください。

会場: 東京文化会館

※演奏はすべて特別録音によるテープを使用します。

チケットご購入の前に必ずお読みください。

※記載の配役は9月20日現在の予定です。カンパニーの都合等で変更になる場合がありますので、ご了承の上、チケットをお求めください。変更にもなうチケットの払い戻し、公演日・券種の振替はいたしません。他の配役につきましては、モーリス・ベジャール・バレエ団の方針により公演当日に発表いたします。※未就学児童のご入場はお断りします。

芸術監督ジル・ロマンと、「ボレロ」主演ダンサーによるポストトーク開催!

3月4日(月)、3月5日(火)の終演後、舞台上にて。ダンサーはその日の「ボレロ」主演者が出演。

S=¥16,000 A=¥14,000 B=¥12,000 C=¥9,000

D=¥7,000 E=¥5,000 ※未就学児童のご入場はお断りします。

エコノミー券=¥3,000 ※イープラスのみで2/1(金)より発売。お一人様2枚まで。

学生券=¥2,000 ※NBS WEBチケットのみで2/1(金)より発売。25歳までの学生が対象。

公演当日、学生証必携

※10人以上のグループでご購入の場合、割引があります。詳しくはNBSまでお問い合わせください。

●e+ (イープラス) <http://eplus.jp/> (PC&携帯) ※プレオーダー 10月18日(木)~10月24日(水)

●チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 423-857)

<http://pia.jp/t/> (PC&携帯) ※プレリザーブ 10月18日(木)~10月24日(水)

●CNプレイガイド 0570-08-9990

●東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

●ローソンチケット 0570-000-407 (10時~20時) (Lコード: 38548)

NBS  
WEB  
チケット

先行抽選予約(S~B) 10/10(水) 10:00~10/18(木) 18:00

NBSホームページ <http://www.nbs.or.jp/>

NBSモバイル <http://www.nbs.or.jp/i/>

※ご利用いただく際には、事前に会員登録(登録料・年会費は無料)が必要となります。

※NBSチケットセンターとは別の会員登録となります。

NBSチケットセンター(電話)だけでお申し込みいただけるお得なチケット

◆Aプロ、Bプロ2演目セット券[S, A, B席] 2枚で2,000円お得!

2演目が同枚数であれば、日にちと券種は自由な組み合わせでお求めいただけます。

◆ペア割引券[S, A, B席] 2枚で1,000円お得!

※2演目セット券とペア割引券の併用はできません。

10月27日(土) 10:00 a.m. より一斉発売開始!

NBS チケットセンター (平日 10:00~18:00 土曜 10:00~13:00) <http://www.nbs.or.jp/> For information in English, see: <http://www.nbs.or.jp/english/>

TEL 03-3791-8888 主催: NBS 公益財団法人日本舞台芸術振興会 後援: スイス大使館

私たちは忘れない、(モーリス・ベジャール没後5年 記念シリーズ 1) 2012年12/15(土)、12/16(日) 東京バレエ団 ベジャールの「くるみ割り人形」 (モーリス・ベジャール没後5年 記念シリーズ 2) 2013年1/19(土)、1/20(日) 東京バレエ団 ベジャール・ガラ 「中国の不思議な役人」、「火の鳥」、「ギリシャの踊り」、「ドン・ジョヴァンニ」

ベジャール没後5年、あの“狂熱の時代”が蘇る!  
2013年日本公演

# モーリス・ベジャール・バレエ団



モーリス・ベジャール  
没後5年記念シリーズ3

没後5年を経てますます評価が高まる、  
20世紀の巨匠振付家ベジャール。  
金字塔「ボレロ」と幻の名作に、  
ジル・ロマンの新作を加えて一挙上演!

熱狂の「ボレロ」とともに、1980年代の名作「ディオニソス」、「ライト」復活!

A Program BOLÉRO/DIONYSOS (SUITE)/SYNCOPE

「ボレロ」「ディオニソス組曲」「シンコペ」  
モーリス・ベジャール振付

3/1(金)~3/5(火)

10月27日(土) 10:00 a.m. より一斉発売開始!

B Program LIGHT

「ライト」全幕  
モーリス・ベジャール振付

3/8(金)~3/10(日)

会場: 東京文化会館 ※演奏はすべて特別録音によるテープを使用します。

stage photos: I. Chikofka, Jessica Haul photo: Maurice Béjart, Mirella Lindvall

つねに熱狂を巻き起こす、ベジャールの金字塔！  
BBL屈指のメロディー・ダンサー2人が競演！

# 「ボレロ」 BOLÉRO

振付: モーリス・ベジャール  
音楽: モーリス・ラヴェル

巨大な赤い円台上で踊る孤高の“メロディ”と、そのカリスマに導かれて群がる“リズム”たち。ラヴェルが精巧に構築した音楽を舞踏で鮮やかに展開しながら、爆発的な絶頂をもって終結し、観る者に圧倒的な衝撃とカタルシスを与える「ボレロ」。舞踏が古来もつ神秘的な力を再現する儀式とも呼ばれた、ベジャール不滅の傑作です。本公演ではエリザベット・ロスとジュリアン・ファヴロー、2人のトップ・ダンサーが日替わりでメロディを演じ、至高の舞台をお届けします。



エリザベット・ロス  
photo: Francette Leveaux

ジュリアン・ファヴロー  
photo: I. Chkolnik

photo: I. Chkolnik

# あの輝き、あのパワー、あの興奮

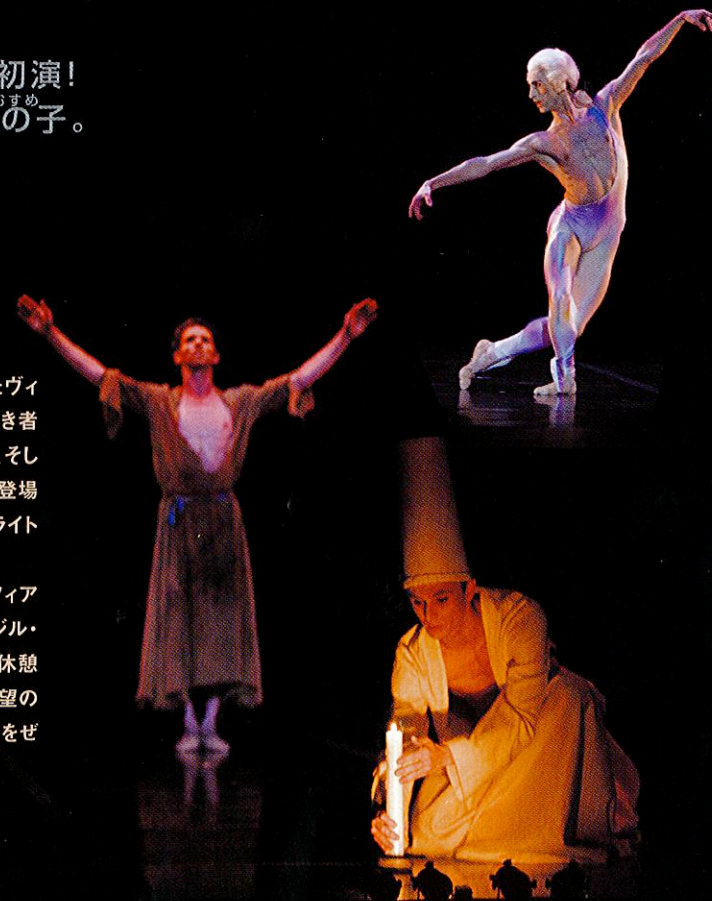
伝説のスター、ジョルジュ・ドンが主演した、  
1981年のベジャールの傑作、いよいよ日本初演！  
“ライト”・・・それは新しい時代を切り拓く、<sup>おススメ</sup>光の子。

# 「ライト」全幕 LIGHT

振付: モーリス・ベジャール  
音楽: アントニオ・ヴィヴァルディ、  
タキシードムーン、ザ・レジデンツ

ジョルジュ・ドンをはじめ錚々たるダンサーを擁した“20世紀バレエ団”時代に初演され、日本での上演が待ち望まれていた名作「ライト」が、32年の時を経てお目見えします！ 17世紀、衰退のさなかに爛熟の文化を咲かせた水上の街、ヴェネツィア。そして新世界の象徴であるアメリカの、同じく海の街サンフランシスコ。“ライト”とは、その新旧二つの世界を渡す存在として誕生したヒロインの名です。  
ある女から生まれたライト—“光の子”が、人生の探求の旅に出かけます。彼

女の母、“赤毛の司祭”と呼ばれたヴィヴァルディ、彼女を惹きつける貧しき者—聖フランチェスコと裕福な侯爵、そして神聖なるジラルーチェ。さまざまな登場人物が彼女の人生を彩り、やがてライトは新たな命を宿します…。  
初演時、ベルギー、パリ、ヴェネツィア等で大喝采を浴びたこの名作が、ジル・ロマンによって振付はそのままに、休憩なしの1時間半にまとめあげられ待望の復活を遂げました。その伝説の舞台をぜひお見逃しなく！



## 2013年日本公演 モーリス・ベジャール・バレエ団



芸術監督  
ジル・ロマン  
Gil Roman



アラナ・アーキバルド  
Alanna Archibald



ジャスミン・カマロタ  
Jasmine Cammarota



リザ・カノ  
Lisa Cano



フロランス・ルルー=コルノ  
Florence Leroux-Coléno



コジマ・ムノス  
Cosima Munoz



キアラ・パペリーニ  
Chiara Paperini



マーシャ・ロドリゲス  
Marsha Rodriguez



エリザベット・ロス  
Elisabet Ros



カテリーナ・シャルキナ  
Kateryna Shalkina



シモナ・タルタグリオーネ  
Simona Tartaglione



キャサリン・ティエルヘルム  
Kathleen Thielhelm



ポーリーヌ・ヴォアザール  
Pauline Voisard



カトリーヌ・ズアナバル  
Catherine Zuaznabar



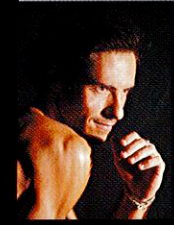
ガブリエル・アレナス・ルイス  
Gabriel Arenas Ruiz



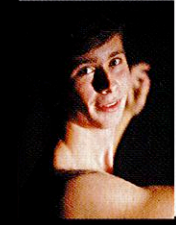
オスカー・シャコン  
Oscar Chacon



ジュリアン・ファヴロー  
Julien Favreau



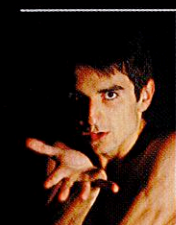
ファブリス・ガララーギュ  
Fabrice Gallarrague



ウィンテン・ギリアムス  
Kwinten Guilliams



ホアン・ヒメネス  
Juan Jimenez



マルコ・メレンダ  
Marco Merenda



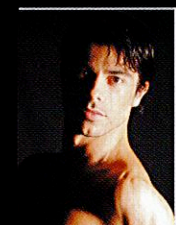
アンジェロ・ムルドッコ  
Angelo Murdocco



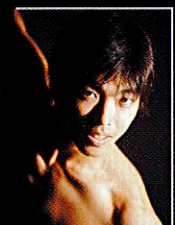
イケル・ムリーヨ・バディオラ  
Iker Murillo Badiola



那須野 圭右  
Keisuke Nasuno



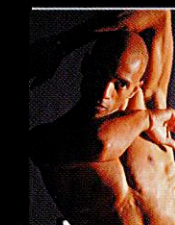
エクトール・ナヴァロ  
Hector Navarro



大貫 真幹  
Masayoshi Onuki



ジュアン・プリド  
Juan Pulido



イェー・ルッセル  
Jhe Russell



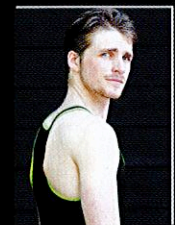
ローレンス・リグ  
Laurence Rigg



フェリペ・ロシャ  
Felipe Rocha



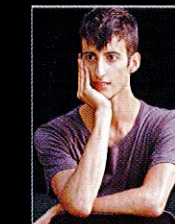
ヴィタリ・サフロンキーネ  
Vitali Safronkine



ハリソン・ウィン  
Harrison Wynn



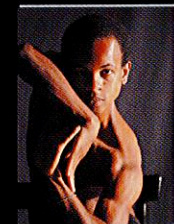
古内 麻似子  
Furuuchi Maiko



ハビエル・カサド・スアレス  
Javier Casado Suarez



ガブリエル・マルセグリア  
Gabriel Marseglia



ドノヴァン・ヴィクトワール  
Denovane Victoire

ギリシャの沸き立つリズムにのって、<sup>ディテュランボス</sup>〈バッカス賛歌〉の興奮が押し寄せる！  
横尾忠則の美術も復活！

# 「ディオニソス組曲」 DIONYSOS (SUITE)

振付：モーリス・ベジャール

音楽：マノス・ハジダキス、伝統音楽 美術：横尾忠則

舞踏が持つ力を甦った哲学者、ニーチェの思索を舞台に再現した大作「ディオニソス」は、1984年に初演され、翌年日本でも熱狂を巻き起こしました。その後、ハジダキスとギリシャの伝統音楽の場面を抽出して編まれたのがこの組曲版です。横尾忠則による鮮烈な背景画はそのままに、艶めいたタベルナ（酒場）のダンスに始まり、ディオニソス誕生にまつわる神話の場面を経て、現れるのは〈バッカス賛歌〉の熱狂的なダンスシーン。赤い衣裳を身に着けた男性群舞たちが、競い合うように踊るダンスは、まさにディオニソス＝バッカスの祭典です。観る者を陶酔へと誘う、その炎のようなダンスにご期待ください。



photo: Francette LeVieux

photo: Francette LeVieux

心臓が停止したそのとき、脳では何が起きている!? ユーモアと洞察にあふれた、ジル・ロマンのスリリングな最新作!

# 「シンコペ」 SYNCOPE

振付：ジル・ロマン

音楽：チェリ・オシュタデル & ジャン＝ブリュノ・メイエ(シティ・パーカッション)

前回の新生 BBL 公演で好評を得た「アリア」につづき、芸術監督ジル・ロマンが披露する最新の振付作品が「シンコペ」です。「シンコペーション」という音楽用語でおなじみの、この言葉。医学用語では「卒倒、気絶」、あるいは「心臓停止」を意味します。人間が意識喪失に陥ったとき、脳では何が起きているのか? あらゆるものを想像し、思い出し、創造しているかもしれない、その瞬間に思いを至らせた、軽妙でユーモラスなダンスをお楽しみください。



Stage photos: Francette LeVieux

！世界中を熱狂させたあの名作が蘇る、ベジャールの季節再来！



photo: Jessica Hauf

若いダンサーたちの成長を受けて、  
芸術監督ジル・ロマンがベジャールの名作を彼らに託す。 佐藤友紀(フリーライター)

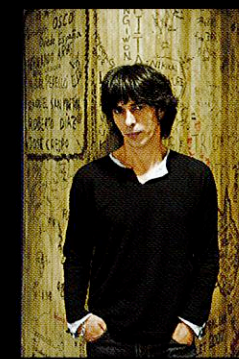


photo: Tom Hiewwa

世に「幻の」と付くものは多くあるが、モーリス・ベジャール・ファンにとってずっと長い間、幻の作品だった「ライト」がついにそのベールを脱ぐ! 初演当時のジョルジュ・ドゥは、我々が知るベジャール作品とはかなりかなり違っているように見え、でもやはりちゃんとベジャールの世界が構築されていることに、ほんのわずかな映像を目にしただけでも驚かされたものだ。今回、約20年ぶりの再演を決めたBBLの芸術監督ジル・ロマンによると、「モーリスの、皆さんが知っているとは違う古典バレエに寄った局面をお見せしたかったのと、「ライト」を踊れる若手ダンサーが育ってきたことが、決断の大き

な理由」とか。彼はまた「僕の子供たちと言っている年齢なんだけど、ダンサーとしても人間としても大好きなのだ」と、自分がベジャールから受けた手ほどきを、後輩たちにバトンタッチしていくのがうれしくてたまらないという様子だ。そんなジルのダンサー想いが実を結んだのが、もう一つの目玉演目「ディオニソス組曲」。これは所属ダンサーはもちろん、ゲスト・ダンサー、そして多くの男性ダンサー達が、ベジャール作品の中でも自分が踊りたいもののトップにあげることが多い演目だ。日本でも上演されたオリジナル版では、作曲家ワーグナー・ファミリーの人々の葛藤なども描かれていたが、「二つの世界を一つにして、モーリスの精神を尊びつつ、現代にも適用できるようにするのが自分の務め」とジル・ロマンが言う通り、ギリシャの酒場での男性ダンサー達の踊りは、ベジャールならではの両性具有的なマスキュリンさにあふれている。

師ベジャールと同じ振付家の道も歩く、ジルの「シンコペ」は、「心臓停止」という意味のシンコペーションに、音楽におけるリズムのずらしのシン

コペーションを重なり合わせたもの。「5~10秒間、心臓が止まっている間、その人間の脳がどんな旅をしているか、との興味から思いついた」とジルが言うように、衝突や闘争がテーマだった前作「アリア」とはかなり違う、「むしろ軽やかで時々ユーモラスな」作品となった。

この3作に、ベジャールの代名詞でもある『ボレロ』も上演される。今も相変わらず TVCM や映画などでしょっちゅう使用されているラヴェルの名曲『ボレロ』。でもそうした場面での単なる BGM 扱いに違和感を覚える人も多いのでは? そんな人にこそ、最初の音の出だしからメインのメロディを踊るダンサーの指の先にまで神経と思いを至らせた本家本元の『ボレロ』にどっぷり浸ってほしい。

「現在カンパニーが扱っているモーリスの作品のプログラミングやら若手の育成、そして自分の振付作品の創作など、やるべきことがいっぱいありすぎて大変なんだ(笑)」とわざと大げさに首をすくめて見せるジル・ロマンだが、来日公演の内容には絶大な自信を持っている様子なのが頼もしい。